

姉妹都市交流茅野市『どんぱん』に参加

相変わらずの酷暑が続く毎日ですが、読者の皆様はお元気でしょうか？こまめな水分補給など熱中症対策は万全ですか？どうぞご自愛ください。

さて、8月最初の週末は、我が伊勢原市の姉妹都市である長野県茅野市の夏の風物詩としてお馴染みの『第49回茅野どんぱん』が開催され、お神輿の「阿夫利睦(あふりむつみ)」とソーレの「花咲女盛(かしょうおんなざかり)」の皆さんと一緒に参加して参りました。

蓼科や白樺湖に代表される高原の避暑地というイメージが強い茅野市ですが、今年はこちらと変わらずむしろ太陽に近いためか、強烈な暑さの中の訪問となりました。



伊勢原から中央道で約3時間で茅野市に到着。

まつりのスタートは茅野市の柳平市長も登る伝統の梯子乗りからです。

青空の下で見ている方がハラハラドキドキします。



「花咲女盛(かしょうおんなざかり)」は東海大学病院救命救急センターの看護師さんたちで組織された皆さんの演舞です。

気温30度を超える中でも、若さいっぱい元気いっぱいの踊りに拍手喝采です。



道灌まつりでもお馴染みの「阿夫利睦(あふりむつみ)」の神輿です。

どんぱん参加の神輿の中でも随一の大きさです。10トントラックで茅野市まで運びこみました。

こちらも猛暑に負けずに勇壮な掛け声が響きます。



突然のスコールに洗われた駅前の特設ステージでもソーレを披露しました。

今年は地元の信州玉川太鼓の皆さんとコラボして、生の太鼓演奏が踊りに加わりいっそう盛り上がりました。